



生命尊重推進の会

# NPO法人 天使のほほえみ

第12号 平成22年1月20日 発行

イラスト © あべまりあ

発行所  
NPO 法人 天使のほほえみ  
発行人 鎌田久子  
編集人 福島 紀

新年を迎えて 理事長 鎌田久子

## 祖国の英霊及び戦後中絶された

### 胎児に心からの謝罪・鎮魂を！

新玉の年の始めに「あひまのほほえみ」  
すめらみくに新年れしを

皆さま明けましてお芽出とごさ  
います。

この地球上、一番早く新年を迎える  
国はどこでしょうか。それは日本の富  
士山頂に太陽の光が当たった時、世界の  
夜明けがはじまります。英国は九時間  
後に、米国は十四時間後に新年を迎え  
ます。

太陽神、天照大神を祖神と仰ぐ万世  
一系の天皇国家、日(靈)の本の国  
日本。わが国の国旗は、純白の素地の  
中心に、ましまるの大調和である真赤  
な太陽の情熱光をあらわしています。

「君が代」は「天壤無窮の神勅」一  
天照大神が、天孫瓊杵尊に「爾の治  
める瑞穂の国は、天地と共に永久に盛  
えていく」と約束された詔を三十一文  
字の和歌に凝縮した世界第一級のも  
のです。

「万物を照らし生かし尊ぶ太陽の  
国・道義国家日本」は、戦後米国製「占  
領憲法」、「現 母体保護法」を押し  
付けられてきました。この殺人奨励法  
を六十二年間も容認してきた日本の  
為政者は一億人

以上の中絶された胎児に、胸奥から謝  
罪の供養をしなければならぬと思っ  
ます。そして「国家護持」及びアジア  
の解放独立のために殉死した還らぬ百  
十六万柱のご遺骨を、祖国日本に連れ  
戻して戴きたいのです。全国民の心か  
らの感謝・鎮魂・慰霊によって、御魂  
が成仏されたとき、天皇国日本の御稜  
威

#### ◆ 会員の皆様へ ◆

### 活動へのご協力をお願いします

「この運動は難しいかも知れないが、  
これからの日本の栄えある進展にとつ  
て、必要不可欠のもの。できることか  
ら全力で推し進めなければならぬ」  
と、我々中央幹部は日々この運動にい  
そしんでいます。（そのほか民主党政  
権打倒活動等も推進）。先日は大変忙  
しい中、相模原市で第二回全国講演会  
を強行しましたが、やはり成果の上が  
るものでした。皆さんもぜひできるこ  
とから、「赤ちゃんの生命を守る」た  
め、一つ一つなさって戴けたらと思っ  
ます。

①まずご賛成。ご家族や友人

が、日本から世界に波及し、真の世界  
平和が実現するでしょう。  
皆さまのますますのご「祥福」と「活躍  
をお祈り申し上げます。



親戚などの内から一人 親友でもお嬢  
さんでもいいからとにかく一人でも  
入会をお勧め下さい。

②「自分の市の図書館に「ママのおな  
かをえらんで来たよ」池川明著・二見  
書房、「運命の人と出会うまで」坪田  
陽子著・新教育者連盟（天使のほほえ  
み事務局でも入手可能）、「愛と性の  
尊厳」賀久はつ著・アートヴィレッジ  
版をリンクエラストして下さい。

③もし身近に新婚さん・これから結婚  
しようという方・まだ生もつと思っ  
ている方・教育費がないとためらってい  
る方・お子さんに恵

まれない方がいらつしやいましたら  
ぜひ「基幹テキスト」を「紹介下さる  
か、ご一緒に輪読なさって下さい。  
④お近くの神社庁代表の方や護国神  
社（前回お渡しした全国の一覧表参  
照、大きな神社・仏閣にアポを取り、  
・資料「少子化問題の決め手」から  
始まる「天使チラシ」・訴えろ通・振  
込用紙一あれば天使のほほえみ・紹  
介・マザーテレサの言葉・基幹テキ  
スト）をお持ちになつて  
・「天使チラシ」に沿って誠実に「説  
明し、ご協力」入会をお勧め下さいは  
大丈夫です。必ず「赤ちゃんの命を守  
ろう」というあなたの誠意が通してい  
くと思ひます。

（以下二面上段へ続く）

### お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 二千元以上  
賛助会員 五千元以上  
篤志会員 一万円以上  
法人 一口 五千元以上

郵便振替口座  
00100-6-316987

特定非営利活動法人 天使のほほえみ

（住所変更の際は是非ご連絡下さい）

(一面下段から)  
万二不成功に終わっても、「こんな大切な運動があるんだ」というアピールが一つできたことになりまし。一あとは十一号の会報一面を参考になり、この内一つでもぜひ行動して戴けたらと思います。一つでも動かれたら、事務局にご連絡下さい。

隔月発行紙「アイデンティティ」の社長さんも共鳴され、「この運動にいそしんでいる方を尊敬します。」「いつでもうちの新聞に記事を送って下さい。」

お載せします。」とエールを送って下さっています。有り難いことです。

同封のアイデンティティ12月号4面に大きく、また1面下の社長さんのコラム「筆滴」に取り上げられて下さっています。

(事務局長 野田富美子)



私は妊娠の相談で来た人には、必死で生ませる努力をしている。

# 「性道徳正常化」 実現のために

坪田陽子先生 講演概要

清らかな交際が幸せな結婚、  
幸せな人生につながる

(九月二十八日開催された「天使のほほえみ」全国講演会における、坪田陽子先生の講演要旨です)

「独身の娘に赤ちゃんができた。」という人には「おめでどう。早く結婚させなさい。」と結婚を強く勧めます。「どんなことがあっても、赤ちゃんを産むしてはいけません。『宝孫』と思いなさい。」と言ひ、高校生の娘を連れてきた人には「自分の子として育てなさい」と言ひ。  
独身で妊娠し、子供は欲しいけど結婚はしたくないという娘を連れてきた母親に、「宝孫として育てなさい」と強く説得した。娘はがんばって生み育てたら、その後好きな男性と結婚でき、

その子も次の子も分け隔てなく仲良く育て、その子は絵の才能が伸びる、というような幸運が訪れた。『赤ちゃんの命を救うといつも本当に良い事が出てくる。地獄が天国になる。私たちは考え方一つだ。』しかし、今や日本中の医者や国民の多くが「いらぬ子は産してもいいんだ、間違つてできた子は産してもいいんだ」と思っている。

テレビに出てくる大先生も「フリーセックスをしてもいいんだ。ただしコンドームをして必ず身を守る」という結論だ。誰も子どもたちに『性は夫婦の純愛の契り。清らかな交際が幸せな結婚、幸せな人生につながる。』『胎児も尊い一個の人間なのだから、大切に生み育てなければならぬ』という事を教えていない。▼日教組の過激な性教育の実態は変わらず、子供の保健体育・家庭科の教科書は、いまだに目をおおいたくなるような内容だ。私はそういう授業は休ませた方が良く思っている。▼横浜の小6の兄が学校で教わったことを試そうと、幼稚園の妹と裸になつてるところを母親に見つかり、母親は翌日学校に飛んで行った。

教えました。どうして本当のことを教えていけないのですか。」「兄妹でやって悪いことはないでしょう」とシャーシャーとしている。本当に狂っている。実際兄妹でやって妊娠してしまつた例がある。

昔は女子には「良妻賢母に育てる」ことを主に教育がなされてきた。今は「男に負けるな」と教える。昔のような教育をぜひ復活させたい。

高校生の6割が性体験をしている。十代の子供たちは平気で複数の相手と関係を持つので、エイズに一人が感染すると200人にすぐ拡がる。外国では減る傾向なのに、日本だけ増え続けている。しかも大切な十代の子供に増えている。

昔は貞操を命より大切にした。今は処女である事を隠さないとバカにされるという。異常だ。「結婚したらダメだけど、結婚前は遊んでいいよ」という母親もいるらしい。大人の倫理感が薄れ「夫が自分を満足させられなかったら、淫気してもいい」という感覚になつてきているという。しかし、子供達は教育次第でいくらでも変わる。清らかな交際の大切さを理論的に話せばわかる。相当遊んでいる中高生

達もわかつてくれ、「これからは清らかに生きよう」と決意してくれた。某総合大学の女子学生に半年間月に一回ずつ講座を持つことが出来た。そこでは「日本のすばらしさ」「人間の尊厳」「女性の天分」「清らかな男女交際」について語つた。それをまとめたのが「輝く青春のパスポート」である。これは若い人全てに読んでほしい。

女子学生を前に「結婚するまでセックスをしてはいけない」と言つと最初はビックリしていたが、皆が納得して清らかに生きる決意をしてくれた。何人かの学生は「運命の人と出逢うまで」をみんなに読むようにと、特に男子学生に勧めてくれた。

(以上、講演要旨)  
(以下三面上段へ続く)



(二面下段から)  
 (当日受講された参加者から寄せられた、感想の一部紹介)

- ・自分にとって新しい考え方だった。本当にいろいろなことを考えさせられた。
- ・自分が生まれた国についての知識を余りに知らなかった。愛するに値する国に生まれた事がわかり、ようやく自信が持てた。
- ・幸せでない夫婦が増えている理由は、女性が男性を立てることが下手になったからではないか
- ・小学生にセックスを教えるのが

### あなたはもつと幸福になれる

鎌田理事長 講演会要旨 (十二月五日)

第二回「天使のほほえみ」全国講演会を開催した。講師は鎌田久子理事長。

講演の中で、「幸福になれる鍵」として「発想の転換(地獄と極楽の話)・言葉の創化力(身口意について)・感謝し赦すこと・使命に生きること・中心帰一のリズム等」を実例や喩え話を交えて講話され、何より「生命を大切にすること、生命である胎児を殺す事は絶対にしてはいけない」

師が本当にいるんだと初めて知った。

- ・日本の神話で、イザナギ・イザナミのシーンは人間的な物語だと思いい、よく読もうと思った。
- ・将来母親になった時の子育てが楽しみになってきた。



と力説して頂いた。参加者は講話に引き込まれ熱心に聴いておられた。

### 私達の目指すもの

鳥取県

今岡 祐一

ペリー米国黒船艦隊の強圧により、開国した日本に着任したタウンゼント・ハリス総領事は、有色人種の未開の国を西欧化する抱負を持ってきました。

ところが、日本の庶民の質素で正直な人情の暖かさ、礼儀作法の折り目正しさ、長幼の序を尊ぶ凡帳面さ、常に入浴する清潔さなど、数々の優れた美德に驚嘆して、日本人

その後、「お金のからない才能教育」の体験談(野田富)、「日本の少子化による諸問題」(久保山)、「母体保護法の法律としての推移と日本民族減少の狙い」(福島)、「今後の当会の運動のあり方・会員拡大について」(野田滋)の発表があった。

今回は今後の全国各拠点での講演会のリハーサル的な意味もあり、首都圏というより、一都市として相模原市で行い

会場も四〇人程度の部屋で行った。近隣の会員へのハガキと一人一人への電話による呼びかけ、関係団体への呼びかけ、神社関係・日本会議関係等へ後援依頼もした。

この講演会に参加された方で、本会に入会した方もおり、本企画は成果が出せ、成功したと思う。

の西欧化で、幸せになれるのかに疑問を感じたのであります。(ハリス著「日本滞在記」より引用)

それでも、明治維新政府の要人達は、西欧型弱肉強食の覇権思想を鏡とし、追いつけ追い越せと全力疾走して、「大東亜共栄圏」建設を目指しましたが、力及ばず蹉跌し、米軍の占領政策で古来の伝統文化・良風美欲は破壊墮落の危機に瀕しております。

盗賊達が盗品の配分に、仲間を減らせれば取り分が増えると思いが、最後の二人が相討ちして自滅したという外国の小話がありました。自分だけが得したいとの利己心を無くさなければ、争いは無くならず、協同生活も民主主義の社会も成立しません。

利己的な株式投資の資本家達の強欲が世界的な大不況を引き起こし、震源地の米国では、白人では收拾できず、その收拾のために黒人大統領を選任したのであります。

かつて数世紀の間、有色人種を侵略搾取し、その犠牲の基に繁栄を謳歌した白人諸国は「奪うものは奪われる」との哲理の通り、植民地は独

立し、衰退期に入った模様です。現下の地球の混乱は、西欧型の物質至上主義では救えないことがハッキリしてきました。

山川草木国土悉皆成仏。有情非情同時成道。森羅万象すべてを神の生命の現れと敬い崇める日本古来の伝統文化の神髄の発露が、地球の生命体の全てを生かし救うのであります。

このまま地球の人口増加が続けば、将来水や食料の争奪戦争に繋がります。人口を減らすべきだなどと「少子高齢化社会是認」の妄論がはびこる向きもありますが、王道ではありません。「神の国」には水不足も食糧不足もありません。宇宙創造神に生かされ、お恵みに感謝して、神意随順、「生命尊重運動」の一翼を担わせて頂く所存であります。

「我神を選びしに非ず、神我を選びしなり」ご使命を頂き、誠に有難うございます。



# 中央での活動状況について

## 「天使のほほえみ」運動の活性化に向けて

「天使のほほえみ」運動目標達成に向けての一環として、有名な神社やお寺に「この運動の説明とご協力・ご入会依頼」のため、訪問した。以下は直近の活動状況の報告である。

一、九月、東京の子宝授かり・安産祈願で有名な水天宮を訪問  
面会予約していた時間に鎌田、野田夫婦で伺い、お祓い行事の合い間に、宮司さんと事務局長（奥様）が面談して下さいました。資料をお渡しし「ご説明すると、奥様は「中絶がそんな実態なのですか」と胎児が殺されている事に心から悲しまれ、「水天宮でも産もうか産むまいか迷っていた女  
性を指導し、産んでもらった事があった」と話された。  
全体では、話は聞いて下さったが、私達の運動に賛同し協力して下さいという雰囲気ではなく、ある程度話をして、その場を辞した。一つのアピールにはなっただと思う。

二、十一月、香川の普通寺へ 旅行中、その宿坊に泊まった朝、飛び込みの面会を許して頂く。普通寺は弘法大師のお生まれになったお寺で、伽藍や敷地は法隆寺並みの大きさと四国随一かと思われた。朝の勤行に参加し、大師堂床下の胎内巡りをした時、大師の声を模したテープでの「命の大切さ」の講話があり、天使のほほえみのご紹介をしようと思いついた。館長代理の方が応接室で話を聞いて下さった。今回は資料の手持ちがなかったが、天使のほほえみの名刺を差し出し、一生懸命お話しした。

館長代理の方は、「そんな大事な事が放つてあるのですか、全国的に多くの団体が動いているのですか」等聞かれ、この運動の大切さにご理解を頂いた。後で関係資料と共に、更なるご説明を加えて、お手紙をお送りした。

三、十月十五日、亀ヶ池八幡宮 訪問

相模原市の亀ヶ池八幡宮を訪ね、参集殿総務の根岸千恵子様に一時間余り丁寧に面談して戴いた。法人会員に「入会下さり、十一月五日の講演会に娘さん母子をお連れになり、参加して下さいました。公後は鎌田理事長に、神社の若い女性向けの会合で講演して欲しい」との要請まで戴いた。

四、十月三十一日、村田春樹先生の講演会に参加  
鎌田理事長と久保山理事の二名で、東京の豊島区民センターで行われた村田春樹氏（「外国人参政権に反対する会」東京代表、当会公認）の講演会に参加した。参加者は総数一七〇名（女性は一割）。

講演後、鎌田理事長が話させて頂いた5分のスピーチで、男の方たちから大きな反響があった。



「そんな実態とは知らなかった」「中絶を取り締まる刑法はないのか」「逃げられない赤ちゃんを殺すなど、ひどい」等、『憲法と母体保護法の改正は、早急にしなければならぬ大切なことだ』とご理解戴いた。

鎌田理事長の何人か後に立たれた伊藤玲子氏が「鎌田さんの話の続きをします。小学生の堕胎は、日教組のジェンダーフリー教育のせいなのです。」と加勢もして下さいました。

村田講師自ら「少子化を解決する極めて有効な方法があるんです。日本は世界一の堕胎天国なんです。堕胎の数が半分減ったら人口は順調に伸びていくんですよ。』というような事を詳しく書いたこの『天使のほほえみの基幹テキスト』を会場の後ろの方で売っています。と宣伝して下さいました。

そうしたら手持ちの基幹テキストが全部売り切れた。  
近ごろ他の一般の有識者や運動家の中に、「天使のほほえみ」の内容を深く賛同・協力して下さいの方が現われつつある。私達として力強い味方を得た思いである。



「ツキツキ YOKOHAMA」

より抜粋

・優奈、安心して生まれておいで  
家族を迎える喜びに、世界一幸せだったパパはもう少しのところで、天国に逝ってしまったけど、命のリレーをして大切な宝物を残してくれたの  
わたしたちの愛に包まれて、あなたの人生は輝いているのよ！  
(妊娠三九週 優奈のママ)

・十五年待ちました  
でも、あなたを待つ『トツキトウカ』は、  
過ぎた十五年より長く感じられました  
早くあなたに会いたいです  
(二八週、幸恵)